JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏２Ａつくも会	(2)記載者氏名:	芦澤敏夫	会員番号:	13176	事務局整理記入欄			
分水嶺区分				(3)山行日:	2004年	5月	3日	(4)天候	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
芦澤敏夫	13176						
		計	1名			計	名

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して) ・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	１８２０m点～三坂峠～三国スキー場												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	前日から続く												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	１８２０m点	佐武流山	138	44	41.70	36	45	31.90	1,820.0		6:25		
1	三坂峠	四万	138	46	33.50	36	44	51.60	1,443.0	9:28	9:47	Ｂ－３	９，１０
2	三国スキー場	三国峠	138	46	51.80	36	45	38.40	1,150.0	11:10		Ａ－１	８
分水嶺離別点	三坂峠	四万	138	46	33.50	36	44	51.60	1,443.0	9:28	9:47		
歩行終了点	三国スキー場	三国峠	138	46	51.80	36	45	38.40	1,150.0	11:10			
										総歩行時間 (休憩時間を除く) :			３：５６

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

三坂峠の道標は、良好

(9) 水および植生に関連した特記事項

日本海側は、稜線沿いに木立が多いが、稜線を境に太平洋側は、背丈の低い笹薮が多い。
分水嶺を境に、日本海側は地形がなだらかであるが、太平洋側は切り立っている。雪庇が出来ているのも、太平洋側である。
稜線沿いは、藪または潅木が猛烈に茂っている。水場は、ない。

(10) その他の特記事項

登山地図には「稲包山まで猛烈なヤブ、大学ワンゲル部などのヤブこぎ合宿の世界」となっており、今回は残雪があったためにどうにか
縦走できたが、雪の無い時期は、水の確保・藪の深さ・複雑な尾根等から、相当の困難なルートである。
なお、三坂峠から稲包山までは、整備された登山道がある。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: